



# 風にゆれる小さな風景

## ～ぼかしもようのモビール～

偶然のぼかしもようをつなげたモビール。  
窓辺にかざってながめてみれば  
いつもと違った風景がみえるかもしれません。  
色やもようの組み合わせを楽しんで  
つくってみてください。

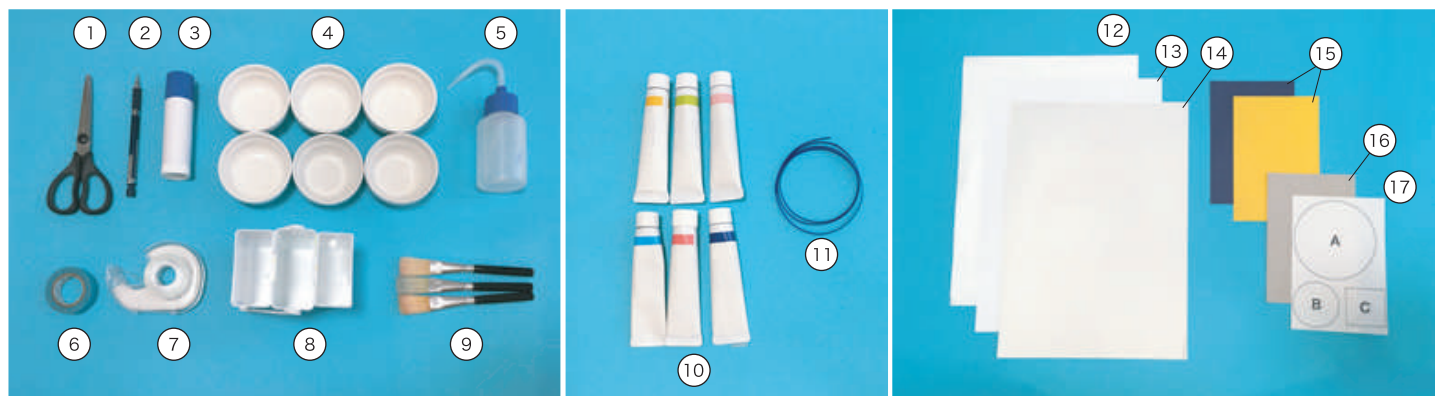


吉池さとみ

© Fuchu Art Museum 2021



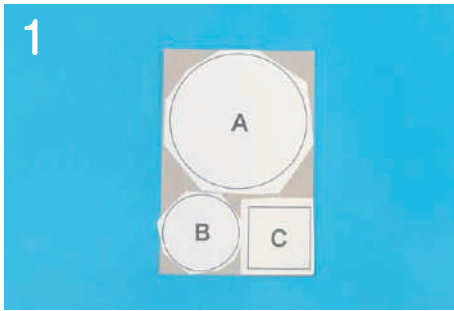
### ●道具と材料



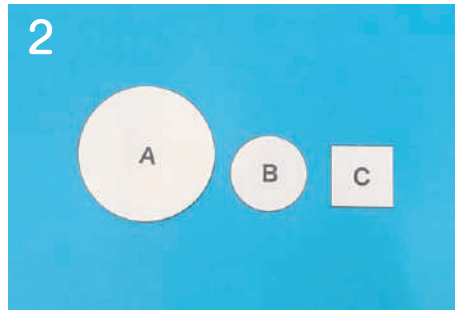
- ① はさみ…1本
- ② 鉛筆又はシャープペンシル…1本
- ③ スティックのり…1本
- ④ 溶き皿…つかう色の数だけ
- ⑤ 水…適量
- ⑥ マスキングテープ…1個
- ⑦ セロハンテープ…1個
- ⑧ 筆洗…1セット
- ⑨ 筆…2・3本
- ⑩ アクリル絵の具…4～6色ほど
- ⑪ リボン 3～4mm幅…70cmほど
- ⑫ 和紙（かざり用 染色用和紙や障子紙などぬれても破れにくいもの）A4…3枚  
※今回は、特に紙のおもてうらは気にしない。  
※3枚のうち、2枚はかざり用、1枚は色の確認用とかざりとリボンの固定用。
- ⑬ 画用紙（かざりA用）A4…1枚
- ⑭ 白い紙（のりを塗る時や、乾かす時の下敷き、あて紙用）A4…5・6枚  
※コピー紙のようなおもてうらが白いものがのぞましい。
- ⑮ 色画用紙（かざりB・C用 すきな色を2色）はがきサイズ…各1枚
- ⑯ 厚紙（型紙用）はがきサイズ…1枚  
※ティッシュやお菓子の空き箱くらいの厚みがあればよい。
- ⑰ 出力した型紙…1枚  
※この作り方の最後のページにあり。プリントして使用。



## ● 型紙をつくる



1  
型紙をプリントして余白を切り落とし、のりで厚紙にはる。  
※のりを塗るとき、下に紙を敷くと作業台が汚れないです。



2  
型紙の線にそってはさみで切り取る。

ヒント!

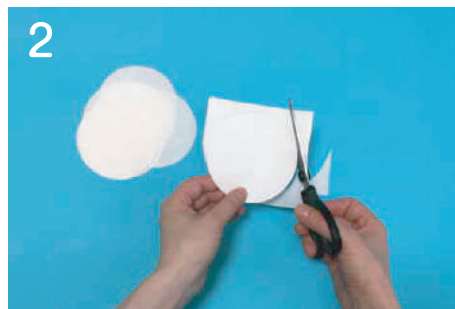


型紙のかわりに、お皿やコップ、ピンのふたなどを利用したり、小さい四角は定規を使ってもよいです。

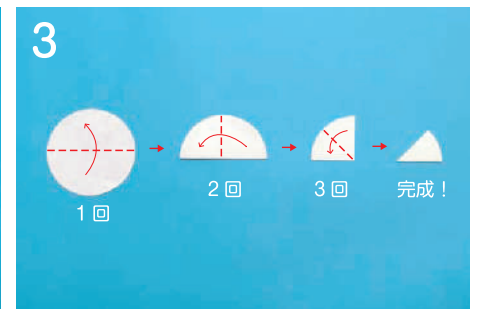
## ● かざりをつくる



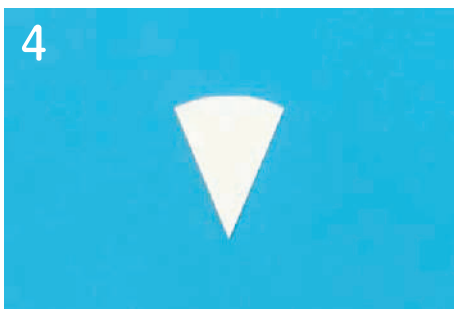
1  
まず、大きいまる (A) のかざりをつくる。和紙を半分に折り、その上に A の型紙をおき、型にそって線をひく。



2  
和紙を折ったまま、線にそってはさみで切り取る。  
※染めた後、いくつかの中から選べるように多めにつくっておきます。(今回は和紙 2 枚から合計 12 枚切り抜きます。)



3  
切った和紙を全部で 3 回、半分に折る。



4  
切りぬいた全ての和紙を同じように折る。

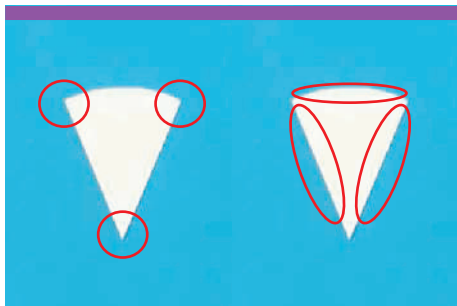


5  
アクリル絵の具を水と筆で溶いて、好みの濃さにしてゆく。  
※絵の具が乾くと色がうすくなるので、思っているよりも、少し濃いめに溶いておきましょう。予備分の和紙で色を確認しながら調整してみてください。



6  
折った和紙の角やへりに絵の具をつけて染めてゆく。  
※このとき手に絵の具がつくので、ウェットティッシュなどを用意しておくといいです。

## ヒント!



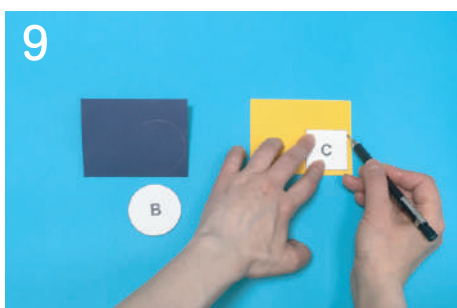
染める場所によって、もようが変わります。染める位置や、色の組み合わせを試して、偶然のもようを楽しんで下さい。



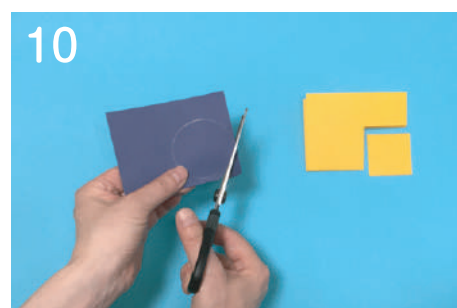
広げる。  
※破れないようにそっと広げて下さい。



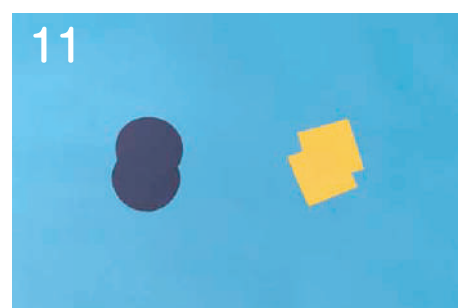
白い紙を平らなところにひき、染めた和紙をできるだけ平らに広げて乾かす。  
※乾ききらないうちは、白い紙にくっつかないように時々動かして下さい。  
※乾燥時間は最低1時間くらいみっていますが、染め具合や天候などにより変わります。



乾かしている間に、小さい丸(B)と四角(C)のかざりをつくる。  
まず、色画用紙を二つに折り、その上に型紙Bと型紙Cをおき、型にそって線をひく。



線にそってはさみで切りぬく。



それぞれ2枚完成。



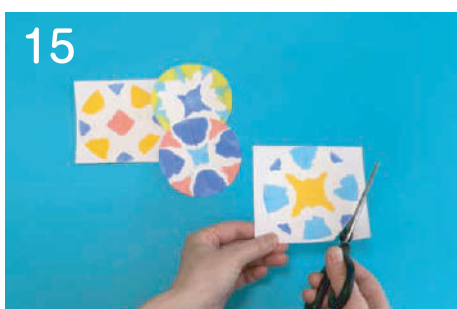
乾いたら、染めた和紙の中から4枚選ぶ。



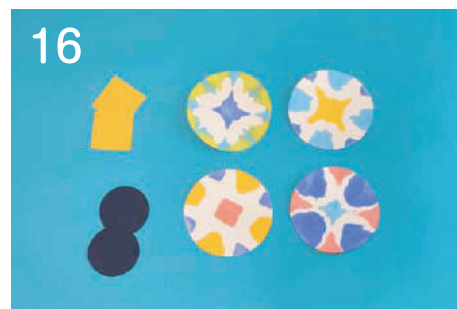
選んだ4枚を、画用紙にのりではる。



ひとつはるごとに、白い紙をあて、上からしわをのばすようにこすり、よく定着させる。



和紙のかたちに合わせてはさみで切りぬく。

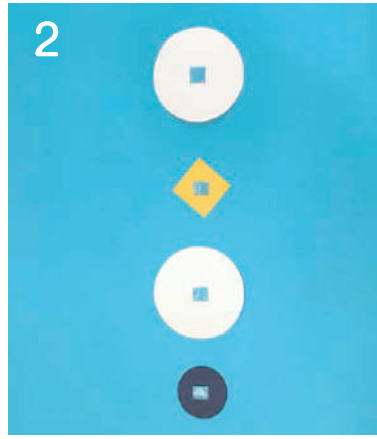


かざりのパーツが完成!

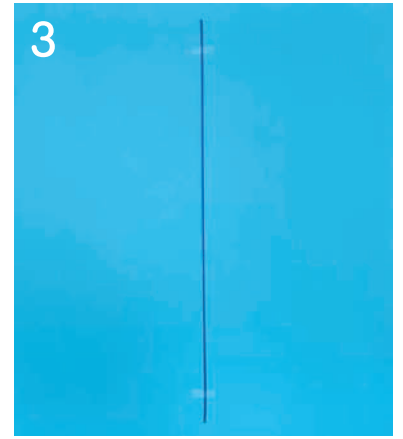
## ● かざりをくみだてる



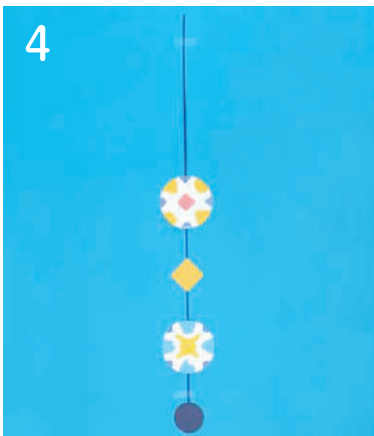
1  
まず、リボンとかざりをならべ、表面と裏面の組み合わせやならびを決める。



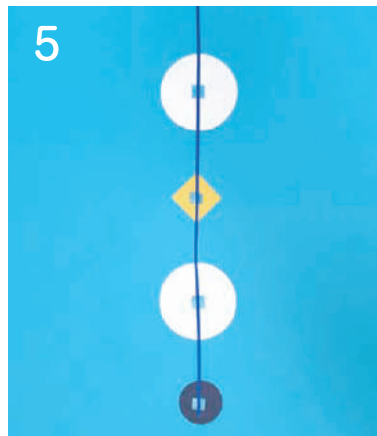
2  
次に、表面のかざりを裏返し、輪にしたマスキングテープを、かざりの真ん中あたりにはってゆく。



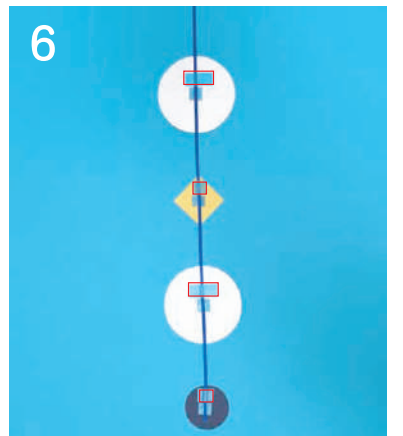
3  
リボンは動かないようにセロハンテープで机に固定しておく。  
(上下の端から5cmくらいのところをとめる)



4  
次に、リボンの上に、マスキングテープをはったかざりを置いて、間隔を決めてゆく。  
※一番下のかざりから置いていくと配置しやすいです。

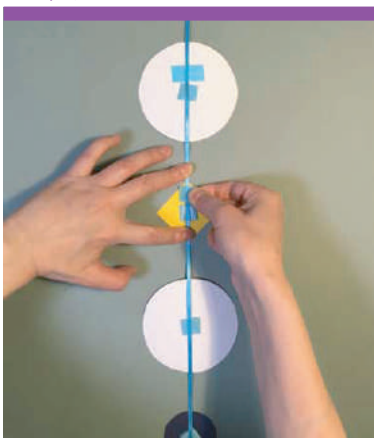


5  
間隔が決まったら、かざりをそのまま裏返す。

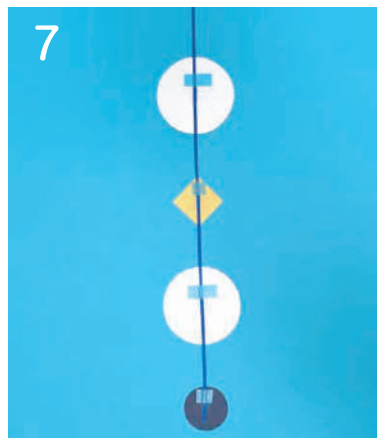


6  
裏返しにしたら、輪にしたマスキングテープの少し上あたり（上の図の赤いわくで示したあたり）に、さらにマスキングテープをはってゆく。

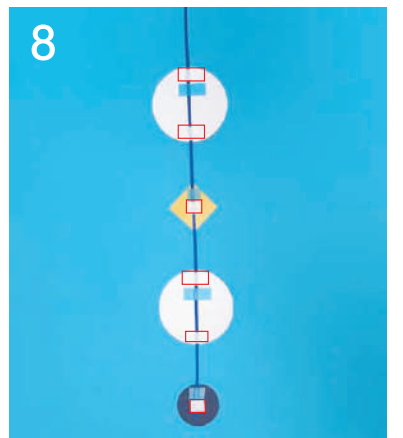
### ヒント!



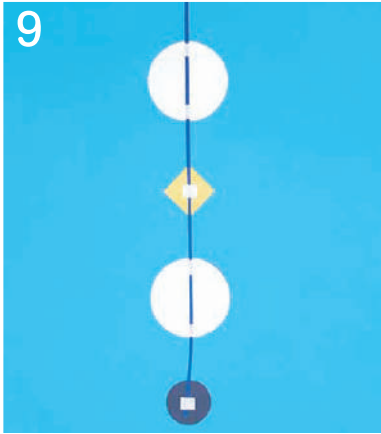
マスキングテープをはる時、はる場所のリボンの上下を、指で少し引っ張るとはりやすいです。



7  
輪にしたマスキングテープは、はがす。



8  
次に、リボンとかざりを固定するため、1cm角に切った和紙ののりをつけ、上の図の赤いわくで示したあたりにはってゆく。  
※この時、和紙がマスキングテープに重ならないように注意して下さい。



和紙をはいたらマスキングテープをはがす。



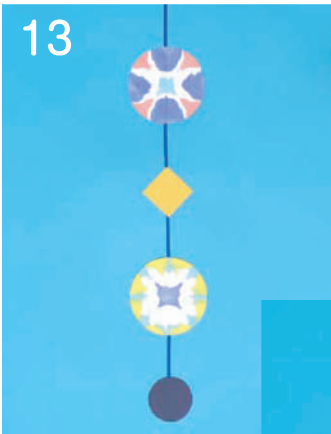
裏面のかざりにのりをつけ、表面のかざりに重ねるようにはる。



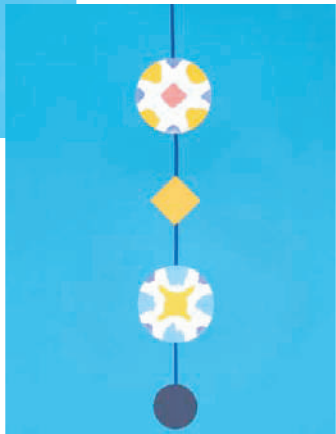
かざりをはりあわせるごとに、白い紙の上からこすって良く定着させる。



ズれて気になる部分は、はさみで切り落とす。



完成！！



表と裏で、それぞれの風景が楽しめます。



リボンの長さ、かざりの色や大きさをかえると、また色々なアイデアが生まれそうです。

### ● かざり用型紙

※切りぬいて使ってください

